

2017年7月から**呼吸器内科医2名が常勤**となり、  
診療体制が充実しました。

2014年4月から非常勤医2名にて  
週に2回の外来診察のみを行っていましたが、  
2017年7月から  
**常勤医2名と非常勤医1名の体制**となり、  
**週に5回毎日の外来診察、入院対応が**  
可能となりました

## <診療の内容>

呼吸器内科では肺・気管の病気を診ます。症状は咳、痰、息切れ、胸痛などですが、これらの症状は肺の病気のこと、心臓のこと、腎臓や貧血からくることもあります。

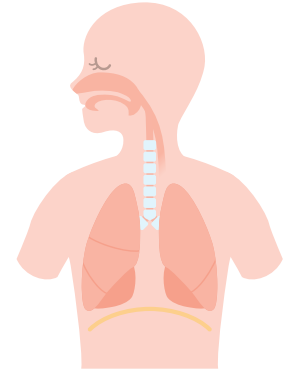
咳の出るのは一日でいつが多いか？また1年でいつが多いか？息切れは歩いたときか？安静にしているときか？痰の色は？このような問診と、診察、レントゲンやCTなどの画像検査、呼吸機能検査、気管支鏡検査（肺の胃カメラみたいなもの）により、診断、そして治療へ結びつけていきます。

## <外来診療担当表>

	月	火	水	木	金
午前	中村	杉村	中村	中村	杉村
午後	中村	杉村	中村		杉村

# 病気の話

## COPD (シーオーピーディー) 慢性閉塞性肺疾患



### • COPDとは

肺気腫や慢性気管支炎という名前をご存じですか。今はこれらをあわせて COPD と呼んでいます。

### • 肺の構造

気道は、のど元の太い気管が、次々と枝分かれして細い細い気管支となり、その先の先には肺胞という風船があり、その表面で酸素と二酸化炭素のガス交換をしています。

### • たばこを吸っていると・・・

肺胞の壁がもろくなり小さい風船がぎっしり詰まっているべきところが、すかさずの弾力のない大きい風船になったり、気道が狭くなり空気が通りにくくなります。そのため咳、痰、動いたときの息切れがでてきます。はじめは階段や坂で息切れがする程度、でも悪化すると同年代の人と同じスピードで歩けなくなり、もっとひどくなると着替えや入浴などの身の回りの事にも支障をきたします。

### • 診断は？

レントゲンや CT にて、肺が膨らみすぎ（過膨張）で黒っぽくうつる、呼吸機能検査にてはき出す力が弱い（一秒量が少ない）などの検査を行います。中でも呼吸機能検査は診断確定には必須で、肺年齢（あなたの一秒間に吐き出す量が何歳の肺に相当するか）が調べられる機械もあります。

### • 治療

原因はたばこですので、必ず禁煙しましょう。もう何十年も吸ってきたからいまさら、、とされている方でも、禁煙による効果はあります。その上で気管を拡げて空気をはき出しやすくする吸入薬を吸ってもらう薬物療法。また呼吸筋を上手に使う呼吸リハ

ビリテーション、さらに酸素不足の方には自宅で酸素を吸う方法（在宅酸素療法）や呼吸をサポートする器械をつける方法（非侵襲的陽圧換気）を導入し、呼吸管理をおこないます。

でもそもそも一番大事なのは、たばこを吸わないことです。

